



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

武蔵野小だより

令和2年7月1日発行

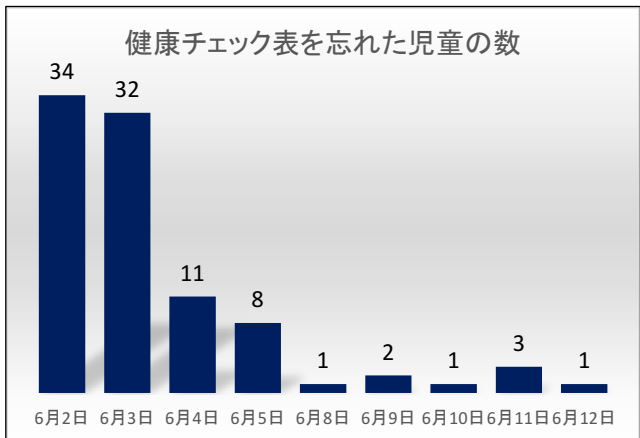
変化に対応しがんばる子どもたち

分散登校などの特別日課の期間が終わり、先週より通常日課による教育活動となりました。

まず、保護者の皆様には、学校再開後のご協力に感謝申し上げます。先月号に、毎日の健康観察に加え、体調が優れない場合の登校は避けることをお願いしました。その後、発熱状態で登校する子は皆無で、健康チェックも習慣化が図られています。

また、子どもたちの登校などを日々見守っていただいているスクールガードリーダー様、交通指導員様、見守りボランティアの皆様や自治会の皆様方に深く感謝申し上げます。お陰様で、毎日笑顔で登校する子どもたちの姿が見られています。

学校といたしましては、今できる対策を重ねることが重要と考えています。安全教育部による動線表示や非接触型体温計の使用で昇降口の混雑緩和を図っています。教室は座席配置を工夫し、人数が多い4年生と6年生については手作りシールドを活用しています。また、ソーシャル・ディスタンスを啓発するために様々な表示を設けるとともに、今後の第2波に備えては校内でのリモート授業を計画しています。



この感染症の対策に完全なものは、まだ見当たりません。しかしながら、武蔵野小学校には、**今の変化に対応しようと懸命に努力する子どもたちの姿**があります。現状に即した各教科の取組をはじめ、間隔を意識した水道付近での並び方、前向き座席で穏やかに食べる給食など、子どもたちのひたむきさには感心させられます。また、その意志や意欲は、本来の学習活動にもプラスに働いており、よく集中して聞いたり、じっくり考えたりする子どもたちの姿がすべての学級で見られます。

どのような状況でも、子どもたちのよさや可能性を伸ばすためにあるのが学校と考えます。今後も保護者や地域の皆様と共に、着実に歩んでまいりたいと思います。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす